

各ゼミの卒論・修論・博論・新 M1/D1 の研究テーマ

《井頭ゼミ》

【2013 年度卒論】

氏名	題名
岸 俊輔	カルナップによる問いの二元論を再考する ——クワインからの批判を超えて——
鈴木 慧	J. L. マッキーのメタ倫理学説は成功しているか？——洗練された主観主義的メタ倫理学説としてのマッキー説の可能性——

【2013 年度修論】 なし

【2013 年度博論】 なし

【2014 年度 M1】

氏名	研究テーマ
市川 英梨	規範倫理学（とくに行為選択の理由について一人称的観点から考察する）
岸 俊輔	メタ哲学（とくに哲学的探求における方法論の理解と整備。その中でも、直観を理論の証拠として用いることに関する是非についての検討。）
鈴木 慧	メタ倫理学の研究をしています。道徳的言説を用いた発話・思考を行う際の主体と世界との関係について、英米分析哲学の伝統に悼さしながら、言語哲学

	的・心の哲学的・形而上学的・認識論的な検討を目指しています。特に、道徳言明の意味論についての、S. Blackburn や A. Gibbard、M.Chrisman らの表出主義的な見解に関心を寄せ、研究テーマとしています。
尹 叙軟	ウィトゲンシュタインと主体について

【2014 年度 D1】

氏名	研究テーマ
小倉 翔	アプリアリな正当化

《大河内ゼミ》

【2013 年度卒論】

氏名	題名
青野 百花	スタンリー・カヴェル『眼に映る世界』における現実 - 映画 - 自己の関係性について
太田 浩之	アダム・スミス倫理学の反哲学的な特徴 — 徳倫理学、功利主義との比較を通して —
北山 裕貴	徳倫理的観点からの仏教思想解釈と、その有用性
寺尾 宇大	ロールズの普遍的正義の理論は国際社会に適用されるのか
三次 悠太 (サブゼミ)	障害者就労支援の現状と今後の可能性

【2013 年度修論】

氏名	題名
真田 美沙	ヘーゲル『大論理学』における量の研究
森田 博之	レヴィナス『全体性と無限』における倫理的主体の定立

【2013 年度博論】

氏名	題名
志賀 信夫	貧困理論の再検討—イギリスの貧困理論の行き詰まりと社会的排除論の意義— (2014 年 7 月 9 日学位取得)

【2014 年度 M1】

氏名	研究テーマ
市川 裕之	ハーバーマス及びホネットにみる市民社会における連帯
上田 尚徳	ヘーゲル「精神現象学」の意識章の研究
魚住 知広	エーリッヒ・フロムと近代的主体性の形成
太田 浩之	アダム・スミスにおける法学の意義
小島 雅史	フッサールの生活世界と発生的現象学について
吉田 尚生	『精神現象学』へ至るイエーナ期ヘーゲルの体系構想

【2014 年度 D1】

氏名	研究テーマ
真田 美沙	ヘーゲル論理学における量論
日比野 佑香	ヘーゲル自然哲学

《加藤ゼミ》

【2013 年度卒論】 なし

【2013 年度修論】

氏名	題名
高木 駿	カントの多元主義的趣味判断とその原理

【2013 年度博論】 なし

【2014 年度 M1】

氏名	研究テーマ
鈴木 裕之	石田忠「反原爆の思想」とカントの道徳哲学

【2014 年度 D1】

氏名	研究テーマ
魏 偉	自然倫理学におけるシェリング自然哲学の射程

《平子ゼミ》

【2013 年度卒論】

氏名	題名
林 克樹	日本における成果主義的人事制度一年功制と成果主義を中心に
川越 文幾	資本主義発達史の変容に関する研究
鈴木 由真	被災地での子ども支援の意義と課題から ースクール・ソーシャルワーク実践の展望を探る

【2013 年度修論】

氏名	題名
木川 堅司	ノルベルト・エリアスの「文明化の過程」における「知識」の理論
吉山 奈々実	イヴァン・イリイチのエコロジー論
岩井 洋子	ヘーゲルの契約論
森田 博之	レヴィナス「全体性と無限」における倫理的主体の定位
真田 美沙	ヘーゲル「大論理学」における量に関する研究

【2013 年度博論】 なし

【2014 年度 M1】

氏名	研究テーマ
菊地 賢	マルクスの労働概念
野末 和夢	フランスにおける市民社会概念の転回
生田目 理恵	アーレント
太田 浩之	アダム・スミス

【2014 年度 D1】

氏名	研究テーマ
真田美沙	ヘーゲル「大論理学」量論
岩井 洋子	ヘーゲル「法の哲学」

《森村ゼミ》

【2013 年度卒論】

氏名	題名
甲斐早喜	第二帝政期における労働者の革命理念の形成過程
駒野泰玄	騎士の衰退と騎士的伝統の存続
佐藤まりえ	16~18 世紀フランスにおける民衆の世界観

【2013 年度修論】

氏名	題名
内田百合子	1873 年パリ国際オリエンタリスト会議における「日本」像

【2013 年度博論】

氏名	題名
松本礼子	18 世紀後半パリのポリスと反王権的言動

【2014 年度 M1】

氏名	研究テーマ
甲斐早喜	フランス第三共和制期の労働者意識
木口裕介	18 世紀イギリスにおける政治運動
駒野泰玄	ドイツ中世後期における騎士
高橋駿仁	フォントネルの思想

【2014 年度 D1】 なし